

令和元年度 第7回総合診療専門医検討委員会（通算14回）

議事録

開催日時 令和元年10月11日（金）18時00分～19時30分
開催場所 TKP 東京駅大手町カンファレンスセンター ホール2 2E

出席者 委員長 羽鳥 裕
班長 竹村 洋典
委員 浅井 文和 金丸 吉昌 園田 幸生 前野 哲博
山田 隆司 渡辺 毅
オブザーバー 松原 謙二
厚生労働省（佐野）

Web出席者 委員 井上 健一郎 清水 貴子 田妻 進 野村 英樹

欠席者 委員 有賀 徹 石松 伸一 今村 聡 北村 聖
草場 鉄周 清水 俊明 菅原 正弘 南学 正臣
邊見 公雄 横山 彰仁

議 題

1. ワーキングからの報告（9月27日、10月11日）

（1）プログラム認定関連チーム

- 5つの審査対象のうち4プログラムは承認。1プログラムは冊子が未完。保留とした。
- 変更申請があったすべてのプログラムは承認とした。
- 内科研修プログラムに移籍のため研修中断があり、認められた。
- あるプログラム統括責任者が退職となり、現在教授選考のため、統括責任者がいない状態。このプログラムについては新しい統括責任者が決まるまで定員はゼロとする、新しい統括責任者が決定したならば定員増加を認めることで、承認された。

（2）内科研修関連チーム

報告審議事項はなし

（3）講習会関連チーム

9. 29名古屋で特任指導医講習会があり、参加者80名。講習会の開催形式を変更したが、アンケートを見ても概ね好評であった。次回は10. 20札幌で特任指導医講習会開催予定。

(4) 専攻医支援関連チーム

研修医手帳ではポートフォリオ A と B を削除してホームページ上に掲載、ダウンロードできるようにし、2020. 4 に完成する総合診療統合データシステムに直接入力出来る仕組みが搭載されるまでは、紙ベースで対応するようにすることで承認された。

(5) 広報関連チーム

広報担当者が FAQ の掲載候補内容を各担当になげ、各担当が選択、案の作成し、委員長、班長、広報チームリーダーにて選択する。その際、通知の緊急性を考慮することとなった。

(6) 専門医試験関連チーム

現在、内科試験の担当などを考慮する段階となっていることが報告された。

(7) 統合データシステム

JCS にてシステムを構築することが報告された。

(8) 今後のワーキングについて

羽鳥委員長より、現在のワーキングは、おおかた必要なプロダクトが作成されたので、終了し、専門医試験テキストブックチームの創設を含め、新たに作る。

2. カリキュラム制について

機構が認めるやむを得ない事情でプログラムが実施し得ないときに限り、完全カリキュラム制のカリキュラムが報告され承認された。これに基づき、規約の変更案(資料3-2)が提出され「各学会等がカリキュラム制の認定施設における研修実績が評価される」とすることで承認された。

3. 整備基準における被災地

整備基準で施設群の地理的範囲における被災地は、定義が時間とともに変化するので削除し、医療資源の乏しい地域として読み替えることが承認された。

4. 整備基準における総合診療専門研修Ⅱの診療実績基準

総合診療専門研修Ⅱの診療実績基準のべ外来患者数や入院患者総数などの規定を撤廃したい旨の提案がなされた。これについてこれまで通り例外規定で読み替えるべき、総合診療専門研修の自由度を多化するために規定撤廃すべき、これを撤廃しないと大学プログラムが成立できず、医学生の総合診療参加が阻害されること、この規定があることで総合診療専門研修プログラムへの参加をあきらめている大学があることなどが議論された。これとは別に内科研修があるので総合診療専門研修ⅠとⅡを合わせて18か月としてもいいのではないかとの意見もあった。2021. 4以降スタートの専攻医を対象に、2020. 2を目途に、案を出し合ってさらに議論が必要とされた。

5. 特任指導医講習会(9/29名古屋)について

委員長から当日とったアンケートの結果が紹介され、参加者は他科の専門医であることが多く、その多くの方が、総合診療専門医資格を取得したい希望がある、また、専門医でない医師も同様な希望があるとの結果であったが、その場合も補講などの担保が必要とされた。

6. 専攻医費用負担について

積算すると1専攻医当たり55,000円の費用負担を要求するのが妥当であると報告された。これは3年でもそれ以上の研究でも同額とすると報告された。なお、この費用は総合診療統合システムへの研修登録時、または専門医試験受験時に徴取することが提案され了承された。

7. ワーキング改変について

ワーキングは、おおかた必要なプロダクトが作成されたので、終了することがワーキングにて伝えられたことが報告された。

8. 委員長メッセージ

委員長メッセージその5が紹介された。

9. 管理システムについて

管理システムは JCS 社が構築することになった旨、報告があった。そして JCS 社から MOF パワーポイント（紙芝居）を使用して説明があった。また、前回委員会からの質問について回答の説明があった。

10. 理事会決定に基づく「総合診療専門研修プログラム」の一次審査基準

- ① 僻地勤務条件 5 都府県のみ 12 か月の研修を求めているのをすべての都道府県にて 6 か月にすること、
- ② 研修中に医療資源の乏しい地域などにおける研修ができなかったものは、専門医資格取得後、つぎに資格更新されるまでこの研修を修了していないものは専門医資格を取り消される、
- ③ 妊娠出産、介護など機構が認めたライフイベントが理由である場合は、この研修を免除し、その代わり講習会などで一定単位数以上の受講が必要になること、が提議された。②については賛成と反対意見がだされた。厚生労働省の意見の紹介もあった。早急に審議し、遅くとも年明けまでには結論を出す必要があるとの指示があった。

11. その他